



水と人が奏でるハーモニーのまち

宝達志水町

議会だより

平成25年7月30日 発行

■発行

石川県宝達志水町議会
〒929-1492

石川県羽咋郡宝達志水町子浦そ18-1

TEL (0767) 29-8310 (直通)

FAX(0767) 29-4623

■編集

宝達志水町議会

広報編集特別委員会

第33号



浜開き

主な記事→

■ 25年第2回定例会 2

■ 25年第2回臨時会、議会改革特別委員会調査報告..... 3

■ 一般質問 (6名) 4

■ 委員会ノート 7

■ 行政視察報告書 8

■ 町議会日誌 10

平成25年 第2回

定例会

6月13日~21日



◎予算関係

○一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれに2億904万1千円を増額するもの。

主な歳入

- ・分担金及び負担金 187万8千円
- ・土木事業負担金など
- ・国庫支出金

1億5382万1千円

(社会資本整備総合交付金、地域の元気臨時交付金な

ど)

・県支出金

857万6千円

(木造公共施設等整備補助金など)

・諸収入

700万円

(コミュニティ助成事業助成金)

・町債

3776万6千円

(臨時財政対策債、移動図書館車購入事業債など)

主な歳出

・議会費

129万円

(議会運営費など)

・総務費

△3万9千円

(財産管理事務費など)

・民生費

1004万1千円

(心身障害者医療給付事業費、子育て支援事業費など)

・衛生費

2013万円

(公立羽咋病院負担金、住宅用太陽光発電システム設置事業費)

・農林水産業費

716万7千円

(県単土地改良事業費(里山保全型)、ふるさと振興事業費など)

・商工費

52万円

(消費者行政活性化事業費)

・土木費

7682万8千円

(道路整備事業費、町営住宅管理費など)

・消防費

6852万3千円

(消防施設整備事業費など)

・教育費

2458万1千円

(理科教育設備整備事業費、図書館管理運営費など)

○介護保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ224万6千円を増額するもの。

○ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ700

万円を増額するもの。

○水道事業会計補正予算(第1号)

収益的支出に58万6千円を増額するもの。

○国民健康保険志雄病院事業会計補正予算(第1号)

資本的収入3100万円、資本的支出3185万円を増額するもの。

◎条例関係

○宝達志水町障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例及び宝達志水町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例

〔全員賛成〕

○宝達志水町乳幼児及び児童の医療費給付に関する条例の一部を改正する条例

〔全員賛成〕

○宝達志水町心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

〔全員賛成〕



寺分 努
(小川)

○固定資産評価審査委員会委員の選任について

◎人事案件



耐震補強工事が行われる
押水総合体育館

- ◎契約案件
 - 財産の取得（消防ポンプ自動車）の購入
 - 押水総合体育館耐震補強整備工事（建築工事）請負契約の締結
 - ・真柄・勝二特定建設工事共同企業体
 - ・2億5095万円
 - 〔全員賛成〕

◎報告案件

- 平成24年度一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告
- 平成24年度国民健康保険志雄病院事業会計継続費繰越計算書の報告

- ◎専決条例
 - 宝達志水町税条例の一部を改正する条例
 - 〔全員賛成〕
 - 宝達志水町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
 - 〔全員賛成〕

- ◎議会議案
 - 宝達志水町議会議員政治倫理要綱及び宝達志水町議会議員政治倫理要綱運用規程の制定について
 - 〔賛成10、反対2〕

- ◎平成24年度補正予算関係（専決）
 - 一般会計補正予算（第6号）
 - 〔全員賛成〕
 - 国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
 - 〔全員賛成〕
 - 後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
 - 〔全員賛成〕
 - 介護保険特別会計補正予算（第4号）
 - 〔全員賛成〕

- 宝達志水町土地開発公社の経営状況
- ◎請願
 - T P P 交渉に参加しないことを求める意見書提出に関する請願
 - 〔継続審査〕
 - 治安維持法犠牲者への国家賠償を求める意見書の提出を求める請願
 - 〔継続審査〕

◎人事案件

○教育委員会委員の任命について



中橋 樹
(杉野屋)



近岡由裕
(今浜)

○固定資産評価委員の選任について

村井康志（御館）

第2回臨時会 5月8日

議会改革特別委員会調査報告

町議会をより活性化し、町民の負託に応えることを目的とし、平成23年9月16日に議会改革特別委員会を設置。大きく6つの検討項目に絞り、会議の開催や先進地視察を行い、以下の結論となる。

- 1、議員の定数は、現行どおりの14人とする。
- 2、議員報酬は、特別職報酬審議会の開催を求めて、適正な金額の引き上げを求める。
- 3、期末手当は、現行どおりの基準割合とする。
- 4、費用弁償は、議会の会議出席の日額を、1,000円から2,000円に改める。
- 5、政務調査費は、現在、政務活動費に名称が改められているが、これについては制度化しない。
- 6、議員政治倫理要綱及び議員政治倫理要綱運用規程は、新たに設け制度化する。

今後とも、町議会を取り巻く状況に対応すべく、改革・改善を求められることも予想され、それらに対して町議会が一体となって積極的に取り組み、検討していくことが重要であると考えます。

質問 いっばん

地元分担金の軽減は

町長
小規模な老朽ため池の改修は検討したい



土上 猛 議員

問

- ① 農林水産事業分担金等について
- ② 統合中学校について

答 町長

① 町単独事業等での分担金は、町と受益者との共通の観点からも、今後も同様の負担をお願いしたい。

② しかし、小規模な老朽ため池の改修は、国の補助率が増えた分、地元負担を軽減するというガイドラインが示されており、国のガイドラインの趣旨を見極め、今後の地元分担率を検討したい。

答 教育長

② 通学路については、昨年度、中学校統合準備委員会通学部会において点検及び危険箇所洗い出しを行った。

指摘のあった「宿12号線」の横断については、危険箇所としてあがっており、横断歩道の設置を



町道宿12号線

関係機関に要望したところ、来月にも横断歩道が設置される見通しとなっている。

この場所のみならず、危険箇所については、横断歩道、防犯灯の設置を関係機関に要望し、開校までに安全対策が終了するように準備を進めていく。宝達中学校になってからの部活動のユニホーム等の費用負担については、保護者の負担軽減となるよう、今後、助成を検討したい。

防災行政無線の整備は

町長
屋外拡声子局を81か所設置する



杉本久実男 議員

問

- ① 防災行政無線の設置計画について
- ② 宅配サービス等の推進及び複合商業施設の誘致について
- ③ 光通信について

答 町長

① 地区会館や集会所等の敷地内に屋外拡声子局を81か所設置する。

整備費用として平成25年度当初予算に2億6千万円を計上している。

土砂、ため池、津波のハザードマップに地震災害、風水害を1冊に合わせた防災ハンドブックは12月までには、各家庭に配布したいと考えている。

② 現在、宅配サービス等への補助はないが、高齢者福祉の観点から、いろいろと取り組んでいる。

今後さらなる買い物支援策が必要となった場合は、既存の宅配サービス等の強化や新たな宅配サービス等の創設も一つの

方法であると思う。ただし、高齢者福祉サービスの観点からのみ捉えるのではなく、商業の振興、活性化を念頭に、今後、制度の必要性や効果について検討の上、慎重に対応したい。

人口が減少する能登地域の商圈や、施設用地の確保を考えると大型複合施設の誘致は難しい。

しかし、食品スーパー等の商業施設の出店計画もあり、地域経済の活性化や雇用拡大という点を踏まえ、立地推進に向けた協力をしていきたい。

③ 本町では、通信事業者による光通信サービスは利用できないものの、光ファイバーケーブルによるインターネットサービスを利用できることから、光通信の空白地域ではないと認識している。

町政を問う



寶達典久 議員

教育長就任の抱負は

教育長 教育行政の発展のため誠心誠意努めたい

問
町教育行政の取組みについて。

答
教育長

教育委員会の果たすべき役割と責任は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に規定される理念を実現するため、国や県と連携協力しながら自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう様々な施策を講じていかなければならない。また、一人の人が生涯にわたって関わるテーマであることから、教育委員会での役割も重要であると認識している。

私の抱負ですが、一つには、小中学校教育の充実。児童生徒の確かな学力の保証は学校の責務であり、教育委員会の責任であると考えている。国及び県が実施する学力調査で、検証し、学力量向上を目指す。また、教員の力量を高



答弁する勝二教育長



柴田 捷 議員

世界農業遺産認定区域の追加認定を受けて

町長 能登の魅力向上に寄与したい

問
①今後の町政運営について。
②25年度の予算編成方針について
③世界農業遺産認定区域の追加認定について

答
町長

①町民が元気で生きがいを感じる施策として、遊休土地の活用によって家庭菜園を設けることは、町民相互の交流が図られることや、景観が保たれるなど、地域の活性化が期待され、また、貸付収入も見込まれ自主財源の増加も期待されることから調査・検討を進めていきたい。

魅力あるまちづくりのための地域住民の主体的な取り組みを促す施策では、地域活動活性化のためのリーダー育成が重要であり、地域住民、企業、町職員を含めた、地域づくりリーダー養成等の取り組みを実施したい。

職員の人材育成は大変重要であり、資質の向上、能力開発に努めるため研修に計画的に参加させている。職員採用は民間での発想や活力を行政に活かすことを目的に、職務経験者枠を設け、来年度も採用を予定している。

②平成25年度当初予算は、骨格予算として編成したが、今定例会に提案した施策は、将来のまちづくりを見据えた事業を実施することとしている。

③公約に掲げた施策は、今後の財政状況を踏まえながら計画的に手掛けていく。

③名誉であると同時に、「能登の里山里海」を未来に引き継ぐ、大切な責務をいただいたと受け止めている。

世界農業遺産という貴重なブランドを活用し、能登地域の知名度を国内外に高め、観光資源の活用や農産物のブランド化などにより、能登の魅力向上に寄与したい。

若者定住バックアップ事業の成果は

町長
一定の効果を上げていると認識している



久保喜六 議員

問

- ① 定住促進について
- ② 結婚支援事業について

答 町長

①人口数は、合併時からみると、1割ほど減少しており、中でも出生数の減少が顕著で少子化が急速に進展している。少子化現象から早く脱却するためにも、現在取り組んでいる定住促進策を継続しながら、今定例会に「乳幼児等の医療給付費」を拡充する施策を提案した。若者定住バックアップ事業は住宅新築等奨励金と出産祝金の支給により、人口減少を防止し、若者の定住化と町民の増加を図るもの。過去5年の実績は、住宅新築等奨励金は年々件数が増加しており、事業の成果はあると感じている。人口の減少に歯止めをかける点で一定の効果を上げていると認識している。今後も事業の継続に努めたい。

②町で実施する場合、イベントの企画内容などが制約され、画一的で、長続きしない事業となることが懸念される。

活カある商工会青年部等の団体が事業を実施することが、より一層の効果を得られると考えており、町は後援者という立場で支援していく。

答 住民課長

①合併後から現在までの成果は、住宅新築等奨励金は交付件数76件で交付額は3830万円。出産祝金は72件で、交付額は720万円。

一割負担徴収をやめるべきでは

町長
今のところ見直している状況ではない



小島昌治 議員

問

- ① 町原子力防災計画について
- ② 地区要望実現について
- ③ 志雄病院移転新築について

答 町長

①原発は国のエネルギー政策として進められてきたものであり、町単独で再稼働停止に向けた働きかけは考えていない。

②一割負担徴収は、財政健全化に向けた取り組みと、公平な受益者負担を求める必要があることから、今のところ見直しをする状況ではないと判断している。

③将来見込まれる出生数、採算性、医師の確保などを総合的に判断し、産科の設置は難しいと考えている。

不足する診療科については、志雄病院単独で解決するのではなく、大学病院や近隣の病院と連携をとりながら、サービスを

の提供をしていく。

答 環境安全課長

①町内には環境放射線を計測するモニタリングポストが2か所設置され、庁舎ロビーや、県ホームページで情報を見ることが可能。

特別養護老人ホーム、グループホーム、病院、保育所などの利用者の避難は、移送先の受け入れ体制が整うまで、一時的に屋内退避を続けることが有効な放射線防護措置と考えている。県、施設管理者と協力し受け入れ先の確保に努めたい。

ヨウ素剤は志雄病院に保管されている。UPZ 30km圏内は事前配布が認められていないため、各家庭への配布は考えていない。



放射線監視システム

委員会ノート

第2回定例会会期中の審査内容

総務産業建設常任委員会

問 住宅用太陽光発電システム設置事業の補助対象者は、町税を滞納していない者となるが、公共料金も含むのか。

答 含む。

問 補助金の金額を区分したのは。

答 町有地を購入し、町民となる方には、町の施策として補助金を倍額とした。

問 国からの地域の元気臨時交付金は一般財源扱いとなるのか。

答 平成25年度の当初予算分も含めて、建設事業費に充当される一般財源となる。

問 志雄パークキングのリニューアル完成記念イベントの経費は。

答 町負担。

問 公園管理費の臨時職員

賃金は、集落要望のある河川や、地域のお寄りでは対応できない斜面等の草刈りへの対応は可能か。

答 町道や公園の草刈りが主だが、河川への流木処理、除去は可能。

問 ほうだつ団地の増設する駐車場は無料なのか、有料なのか。

答 今後検討したい。



ほうだつ団地

問 ケーブルテレビの防災に対する取り組みの検討は。

答 国からの情報を自動的に「さくらチャンネル」に流すことの是非

問 水道技術管理者は、何人配置しなければならぬのか。

答 最低1名の配置が必要。

を検討したい。

問 資格取得のための講習受講は複数名必要では。

答 年次計画を立て、取得させたい。

問 今後設置する街灯は全てLEDに替えていくのか。

答 今回の事業は、統合中学校の通学路危険箇所に対応するものでLEDを使用。集落内の街灯も、更新する際にLEDでの整備を考えている。

教育厚生常任委員会

問 統合中学校建設により、新たに設置される駐輪場の防犯体制は。

答 今後必要に応じて保護者と検討したい。

問 社会福祉事務費の臨時職員の業務は。

答 押水窓口センターで住

問 民課や税務課などの証明書の交付業務を行う。昨年度、多数の退職があり臨時職員で対応。



押水窓口センター

問 子ども・子育て支援事業費の業務委託料に国の補助はあるのか。

答 国からの補助、若しくは交付税措置があると聞いている。

問 小学校の理科教育設備整備事業費の教育資材購入は、以前は全額国の補助だったのでは。

答 以前から2分の1の補助。

問 医療給付費を高校修了まで拡充する予算要求額の積算根拠は。

答 近隣の市町例や、本町の小学校4年生から6年生までの給付実績から積算。

問 医療給付費に予算不足が生じた際の対応は。

答 補正予算で対応したい。

問 公立羽咋病院負担金は本町にとって妥当な金額なのか。

答 羽咋市、志賀町、宝達志水町で負担額を算出。負担金は交付税措置されている。

問 押水武道館の消火設備の指摘というのは。

答 今年3月の点検の際に、警報盤の不具合を指摘。消火栓や火災警報器には問題はない。

問 医療給付費に予算不足が生じた際の対応は。

答 補正予算で対応したい。

問 公立羽咋病院負担金は本町にとって妥当な金額なのか。

答 羽咋市、志賀町、宝達志水町で負担額を算出。負担金は交付税措置されている。

問 押水武道館の消火設備の指摘というのは。

答 今年3月の点検の際に、警報盤の不具合を指摘。消火栓や火災警報器には問題はない。

問 医療給付費を高校修了まで拡充することで見込まれる対象者数は。

答 100名程度。

問 心身障害者支援対策として、町単独助成を全額助成へ拡充することにより見込まれる対象者数は。

答 200名程度。

問 旧北大海第二保育所に係る用地測量業務委託料が不用となった理由は。

答 旧北大海第二保育所に係る用地測量業務委託料が不用となった理由は、

問 地元での敷地利用に係る協議が進まなかったため。

答 地元での敷地利用に係る協議が進まなかったため。

問 放課後児童クラブの定員は何名か。定員枠はあるのか。

答 放課後児童クラブには35名という定員数があるが、要綱等には定められていない。

問 押水総合体育館耐震補強整備事業はなぜ繰越事業となったのか。

答 補助事業の採択を受けたのが年度末であったため。

問 新病院建設に際して、事前に医療機器を購入するのか。

答 新病院の建設時に併せて購入するが、使用可能な機器は移設したい。

問 基本設計の委託業者から前払い金の請求はなかったのか。

答 請求はなかった。なぜ請求しなかったかについては把握していない。

病院運営特別委員会

問 新病院建設に際して、事前に医療機器を購入するのか。

答 新病院の建設時に併せて購入するが、使用可能な機器は移設したい。

問 基本設計の委託業者から前払い金の請求はなかったのか。

答 請求はなかった。なぜ請求しなかったかについては把握していない。

問 請求はなかった。なぜ請求しなかったかについては把握していない。

問 請求はなかった。なぜ請求しなかったかについては把握していない。

問 請求はなかった。なぜ請求しなかったかについては把握していない。

行政視察報告書

北海道 7月1日～7月3日

本町における交流人口や誘客効果の増加に役立てようと、特色あるまちづくり、名所や地域資源を活用した取り組みについて、行政視察を実施しました。

【帯広市】

幸福駅は、昭和31年8月に国鉄広尾線の仮の乗降場として設置され、11月に駅に昇格。昭和48年にNHKの新日本紀行が放映され幸福駅のブームがスタート。昭和62年に廃線となったが、今も10万人を超える方がこの地を訪れている。平成20年には幸福駅と2つ離れた所にあった愛国駅が恋人の聖地に選定されている。幸福駅には、50年ほど前に建てられた木造の駅舎、線路、ディーゼルカー2両が置いてあるというそれだけの施設。市では線路から西側のトイ

レ、駐車場、芝生の広場を整備し観光客への対応をしている。線路東側は駅舎も含めて民地であり、民間の方が営む土産物店がある。この土地は、十勝帯広空港に近いこともあり、時間調整のために訪れる方も多いらしい。



幸福駅

市では駅を活用し、平成14年から「幸福駅ハッピーセレモニー」という取り組みを行っている。女性職員の発案で始まったこの事業は、貸衣装、写真撮影、記念証を含めて1組3千円。セレモニーということで、牧師が来たり、チャペルがあるわけではないが、2人で愛の誓いをし、サインをするといった内容で、外国の方の利用もあるとのこと。

駅舎は老朽化が進んでおり、観光客の安全面を確保するのが難しいため、現在、再生プロジェクトが進められている。またハッピーセレモニーは、チャペルを整備したり、地元のホテルやウェディング関係の地元企業を巻き込みながら、結婚式のオプションができるような施設にし、グレードアップする取り組みを進めている。宣伝効果等による交流人口を増やす取り組みと

して、北海道内と首都圏向けのイベントに参加し、積極的にPRに努めているほか、首都圏イメージアップキャンペーンというところで、JRS山手線での中吊り広告や、飛行機の機内ドリンクサービス用紙コップへの広告掲載など、誘客に力を入れている。

名所を活用したイベントの実施、北海道内外への宣伝効果など、誘客に対する取り組みについて参考になりました。

【中富良野町】

され、一躍全国的ならべンダー観光ブームを巻き起こしたとのこと。毎年7月の1か月間を「ラベンダーフェア」と称し、様々なイベントが行われている。観光政策としては、「彩の農村観光」ということで、年間約78万人の人がラベンダーや富良野盆地の景観を求めて訪れている。

ラベンダーを町花とし、最盛期には130haも栽培されていたが、人工香料に押されて栽培は段々少なくなつたという。しかし、「ファーム富田」などラベンダーを愛する人々により、作り続けられ現在に至っている。ラベンダー観光の発祥は、昭和51年に旧国鉄のポスターで脚光を浴び、さらに「北の国から」がテレビ放映

も増加しているとのこと。町でも町営ラベンダー園、観光リフト、フラワーパーク等の観光施設の運営を行っているが、民間業者が十分に対応しきっていないなど、多数の観光客が訪れながら、地元への経済効果が反映されていないという課題もあるという。



中富良野町役場にて

また、富良野・美瑛エリアとした富良野美瑛広域観光推進協議会を組織し地域の特性・魅力を生かした広域観光を推進している。ラベンダー観光の人気は比較的安定し、現在で

ラベンダーはもちろんのこと、富良野・美瑛など広域観光の景観を生かし、お互いに誘客をはかり、効果をあげる取り組みを実施しているなど、参考になりました。

【美瑛町】
びえいちょう



写真家の前田真三氏がこの辺一帯の写真を撮り世に知られたのが、「丘のまち美瑛」のきっかけだという。昭和62年に前田さんの写真館「拓真館」がオープン。それと共に観光客が伸びており平成10年のピーク時には14万人。現在は120万人前後で推移している。

美瑛町役場にて

観光がもたらした地域社会の影響として、観光客が農道に車を停めるなど農業の生産現場の支障となるようなことも出てきたという。その解消のため道路の改良整備、駐車場、トイレの整備が進められた。また観光客の農地への侵入防止、マナー向上の取り組みとして、観光協会が中心となり、観光アドバイザーを設置し取り組んでいる。

美瑛町の最大の地域資源は、農村景観を創り出す農業の営みであり、多くの取り組みは観光のためではなく、地域住民の生活を守るために進められている。農業と観光の相互発展のために、美しい景観を守り育てること

で地域のブランド化の推進を積極的に進めている。そのなかで、生産される農産物に付加価値を持たせ、一次産業を軸として地域全体を活性化させる「美しい村づくり」を展開している。

美瑛町の最大の特徴は、農村が持ち続ける資源を新たな価値として提案し、地域を存続させ、農村地域の暮らしを守ることに目的を絞っている。町やJA、商工会など町内の22団体で美しい村づくり協議会を構成。景観スポット周辺の修景として、例えば汚くなったガードレールの塗装作業、花のある街並みづくりとして、沿道や公園の花壇を美しく保つ活動も行われている。

【東川町】
ひがしかわちょう

写真文化によって、町づくりや生活づくり、そして人づくりをしようという試みで、昭和60年6月1日に「写真の町宣言」を行う。この宣言の中には、

「国際写真フェスティバル」と「写真甲子園」という2つの大きなイベントがある。今年8月6日から11日に実施され、期間中に「どんとこい祭り」が行われる。例年約3万2千人の方が東川町に訪れるらしい。「国際写真フェスティバル」はプロの写真家を中心に、プロを目指す若い写真家を対象としたイベント。「写真甲子園」は高校生の大会で、今年52校から、応募があったとのこと。全国を8つのブロックに分け初審査を行い、今年第20回の記念大会ということもあり、20校80人の代表校



東川町役場にて

「写真の町」ということ、全国の高校生を招き、今年52校から、応募があったとのこと。全国を8つのブロックに分け初審査を行い、今年第20回の記念大会ということもあり、20校80人の代表校

が東川町に招待される。大会は、東川町を中心とし、周辺の1市4町をステージとして撮影される。プレゼンテーション形式で審査委員の評価を受け、それを採点し3日間の合計で順位が決定される。町では、多くの町民の方に参加してもらおうという思いがあり、全国から集まった高校生たちを、一日だけだが、一校ずつ町民の家にホームステイさせてもらっている。また、子ども達の夕食は、地域の婦人団体、ボランティアの方に作ってもら

うなど、数多くの町民の方がこのイベントに携わっている。2つのイベントは、始めたころは民間企業に委託しており、民間企業が主で、町職員は協力するという形だった。しかし、10年ほど前に民間企業が倒産し、今は町で事業すべてを実施している。準備等は正職員4人（写真の町課）で対応しているが、イベント期間中は役場他職員の協力を得て対応している。

また、写真の町文化ギャラリーでは、写真家の個展や町の企画展という事業が展開されており、ここには年間約2万5千人の方が作品展に訪れている。「写真の町」ということでの、町の景観づくりや人づくりへの取り組み、町民参加によるイベント協力など、町をあげての町づくりとして参考になりました。

町議会議会日誌 4月～6月

【4月】

- 5日 小学校・中学校入学式
- 8日 宝達高等学校入学式
- 9日 広域圏議会運営委員会
- 10日 広域圏議会臨時会
町民生・児童委員協議会総会
- 14日 桜まつりin宝達志水
- 16日 議会運営委員会
広報編集特別委員会
- 18日 能登地区町議会連絡会総会
- 23日 宝達山開山祭
病院運営特別委員会
- 25日 例月出納検査
- 26日 町体育協会総会



宝達山開山祭

【5月】

- 2日 羽咋郡町議会議長会
- 8日 議会運営委員会
- 14日 町議会臨時会
- 14日 県町村議会議長会
定期総会並びに自治功労議員表彰式
町土地開発公社理事會
- 15日 広域圏議会運営委員会
- 17日 町商工会通常総会・優良従業員表
- 19日 議会全員協議会

【6月】

- 21日 彰式
宝達高校を支援する会理事會
- 22日 オムライスの郷プロジェクト実行委員会
- 23日 子浦川水防事務組合議会定例会
- 24日 議会改革特別委員会
主要地方道押水福岡線改良促進期成同盟会総会
- 27日 議会運営委員会
なぎさ会理事會
- 28日～29日 議長・副議長研修会
- 29日 例月出納検査
- 31日 全国監査委員協議会決算監査
- 3日 宝達山水源の森づくり協会理事會
- 4日 町議会全員協議会



健康まつり

- 7日 自衛隊父兄会町支部定期総会
- 9日 健康まつり
町消防団連合訓練大会激励会
- 11日 能登空港利用促進議員連盟総会・理事會
- 13日 議会運営委員会
- 14日 町議会定例会開会
病院運営特別委員会
- 15日 練大会
- 16日 議長杯グラウンドゴルフ大会



議長杯グラウンドゴルフ大会

- 17日 教育厚生常任委員会
- 19日 総務産業建設常任委員会
- 21日 議会運営委員会
- 24日 町議会定例会再開
能登地区町議会連絡会
- 25日 町身体障害者福祉協会総会
- 26日 例月出納検査、決算審査
- 27日 能登空港利用促進同盟会総会
- 28日 河北・なぎさ千里
浜海岸保全期成同盟会総会

広報編集特別委員会
委員長 宮本 満
副委員長 津田 勤
委員 北 信幸
委員 柴田 捷

議会議を傍聴しませんか

町民の皆さんに議会活動の内容を広く知っていただくために、議会の傍聴をお勧めします。

傍聴する前に、議場入り口で、氏名、住所、年齢の記入をお願いします。



この印刷物は、E3PAのゴールドプラス基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています E3PA：環境保護印刷推進協議会

この広報は高精細340線で印刷したものです。